

NEWS RELEASE

No. 15-3

2015年5月25日

(公財)損害保険事業総合研究所

5月25日発刊「損害保険研究」第77巻1号のご案内

今般、損保総研では、機関誌「損害保険研究」第77巻1号を5月25日に発刊します（発刊は5月、8月、11月および2月の年4回です）。

本誌は、学者と実務家による損害保険ならびにその関連分野に関する研究・調査の発表を通じて、研究者・実務家双方にとり有益かつタイムリーな情報を提供することにより、損害保険に係わる学術振興ならびに損害保険事業の発展に寄与することを目指しています。

★77巻1号の概要

今号では、「海上保険法現代化」、「英国法における保険金不当請求」、「自動運転と損害保険事業」という重要テーマについて取り上げた研究者・実務家の論文3編と、交通事故における健康保険および労災保険の求償問題に関する研究ノート2編を掲載しました。

また、当研究所編「保険ERM経営の理論と実践」出版記念における基調講演「高まるERMの重要性」など、話題性の高い2本の講演録を掲載しています。

いずれも実務家ならびに研究者にとり、大変示唆に富む内容と考えますので、この機会に、是非ともご購読くださいますようお願いいたします。

なお、「損害保険研究費助成制度」については、今年度に制度の大幅な改定を行っておりますので、募集案内ならびに末尾の「お知らせ」でご確認ください。

★主な掲載内容

【研究論文】

「海上保険法現代化について」－国際競争と抵触法の観点から－

京都産業大学法学部教授 吉澤 卓哉

「英国法における保険金不当不正請求の取り扱い」－その苛酷さの理由を考える－

三井住友海上火災保険株式会社 星 誠

「自動運転と損害保険事業」

－自動車の自動運転技術の実用化が損害保険事業に与える影響について－

元損害保険料率算出機構職員 大島 道雄

【研究ノート】

「健康保険の保険者による求償請求に関する一考察」

大阪大学大学院高等司法研究科教授 山下 典孝

「自賠法16条1項の請求権と労災保険の代位請求権の優劣について」

－自賠償保険の取り扱いに対する一考察－

株式会社保安企画取締役リサーチ事業部長 日野 一成

【判例評釈】

「地震デリバティブ取引契約について、当事者間で予め合意された地点に発生した地震が、上記支払条件を満たしているかが争われた事例」

島根大学法文学部准教授 嘉村 雄司

【講演録】

「高まるERMの重要性」

金融庁総務企画局審議官 小野 尚

「ILS（保険リンク証券）市場の最新状況」
－発行レート急低下でCAT債券発行が拡大－

ガイカーペンター株式会社マネージングディレクター 勝山 正昭

【判例報告ならびに研究所事業紹介】

「2015年度『損害保険研究費助成制度』募集開始のご案内」

「損害保険判例研究会」判例報告

「損保総研レポート第110号」概要

★お知らせ

『損害保険研究費助成制度』の応募基準を下記のとおり改定しました。

- ① 一般募集の研究対象の範囲を、リスクマネジメントを含む業際分野まで拡大しました。
- ② 一般募集の助成期間を3年から1年に変更しました。研究が複数年に及ぶ場合等への対応として、最大5回までの応募を可能としました。
- ③ 一般助成の「准教授3年未満」の制限を廃止し、就任1年未満の教授まで対象者の範囲を拡大しました。
- ④ 特別募集の指定テーマを更新しました。

詳細は本号または、弊所Web Siteをご覧ください。

<https://www.sonposoken.or.jp/content/view/full/2688>

本件に関するお問い合わせ先

公益財団法人 損害保険事業総合研究所
編集室 三木博生 TEL 03-3255-5513

「損害保険研究」お申し込み先

<https://www.sonposoken.or.jp/content/view/full/252>